

平成 27 年度 社会福祉法人マキバの会 事業報告

はじめに

平成 27 年度においては、インフルエンザなどの感染症罹患もなく、利用者の心身が安定した。後半には、デイサービスの利用者が施設への本入所となって、利用状況はゼロとなり、スタッフの仕事内容にも余裕ができた。また、かかりつけ医が沢内病院から協立さわうち診療所に変更になり、二年が過ぎてようやくスムーズな連携もできるようになっている。このようなことから、今年度は比較的穏やかな一年、という印象で終わることが出来た。四季折々、いろいろなイベントを企画実践したことで、利用者とその家族、地域の方々やスタッフも共に喜べる機会を多く持つことが出来た。

総括

年間計画の通り、27 年度に計画していた、理事会、会計監査、運営推進会議、外部評価、実地指導、外部研修、スタッフ勉強会、消防訓練、各会議等々の予定を全部熟した。特に、外部評価と実地指導では良い評価を受け、今後の励みとなった。

利用者 1 名の家族からの利用料の支払いが滞り、年間を通して常にこの未収金が発生する状況が続いた。包括支援センターを通して西和賀町役場への相談、そこから国保連への相談と対処方法を模索したが解決には至らず、取り立て請求の苦労が続いている。

中学の実習生を受け入れた。若い生徒を受け入れることで、新鮮さと共に、スタッフの自省の機会にもなった。日常の業務に慣れ流されてしまい、自分を客観視しなくなる。それにより緊張感を失うという反省が生まれた。程よい慣れと程よい緊張が同居していなければならない。この実習の受け入れは私たちに気づきをもたらした。

念願であった屋根のペンキの塗り替えをして、建物が遠目からも引き立って見えるようになった。

予定はしていなかったが急きょ、敷地入口に下水管を設置、出入り面を広くしたことで、大型車の出入りもスムーズにできるようになった。

法人本部

役員

理事 (定員 6 現員 6 : 任期 H27. 8. 7~H29. 8. 6)

理事長	坂本嘉津子
理事	児玉正彦 藤澤昇 藤原輝夫 高橋典成 須藤世志子

理事会開催状況

回	年月日	出席者数	審議事項
74回	5月28日	6 監事2	・平成26年度事業報告(案)の承認について ・平成26年度決算報告(案)の承認について
75回	7月28日	6 監事2	・社会福祉法人マキバの会理事の選任について ・社会福祉法人マキバの会理事長の選任について ・理事長職務代理者選任
76回	7月28日	6	・監事の選任について
77回	12月15日	6 監事2	・監事監査報告
78回	3月24日	6 監事2	・平成28年度社会福祉法人マキバの会事業計画(案)について ・平成28年度社会福祉法人マキバの会予算(案)について

監査 (定員 2 現員 2 任期 H27.8.7~H29.8.6)

監事	高橋善紀 藤原功
----	----------

監査開催状況

決算監査	H27年5月9日実施
出納調査	H27年10月15日実施

施設運営

第二種社会福祉事業

1 認知症対応型共同生活介護（グループ・ホーム）

開設 平成 12 年 4 月 1 日

定員 9 名

27 年度は、3 月に亡くなられた方が 1 名いたが、すぐに新規入所が決まり、個室が空くこともなく推移した。

利用状況

要介護度\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
要支援												
要介護 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護 2	3	3	3	2	2	2	2	1	2	2	2	2
要介護 3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4
要介護 4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護 5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	9	9	9	9	9	9	9	8	9	9	9	9

2 共用型通所介護（デイサービス）

開設 平成 18 年 4 月 1 日

定員 3 名

11 月まで 2 名の通所の方を受け入れていたが、1 名は他施設に本入所し、1 名は当ホームに入所した。12 月からは利用者がゼロとなる。

利用状況

要介護度\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
要支援												
要介護 1												
要介護 2	1	1	1	1	1	1	1	1				
要介護 3	1	1										
要介護 4			1	1	1	1	1					
要介護 5												

合計	2	2	2	2	2	2	2	1				
----	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--

3 短期利用共同生活介護（空居室利用ショートステイ）

1 1月に1名が入院した、その空室を利用して、三日間のショートステイを受け入れた。

運営推進会議

運営推進会議では利用者、家族、近隣の方々がメンバーとなっている。会議を利用してお楽しみ会や行事を取り入れているため、大勢で楽しむことが出来ている。

委員	小森一彦 高橋夕美子 佐々木淳子 北村運一 吉田信夫 田中勲 施設利用者 家族 健康福祉課 施設長 職員1名
----	---

開催状況

年月日	出席者数	審議内容
4月28日	17	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度の施設整備 利用料の変更と短期利用生活介護の提供 年度の抱負 年間の行事予定
6月24日	19	<ul style="list-style-type: none"> 西和賀消防署員による救命講習会
8月23日	33	<ul style="list-style-type: none"> 納涼祭とミニ運動会
10月18日	31	<ul style="list-style-type: none"> 地区合同避難訓練 訓練後の反省、今後の課題について
12月8日	22	<ul style="list-style-type: none"> お茶会 活動状況報告 外部評価の報告 意見交換
2月24日	20	<ul style="list-style-type: none"> お茶会 事例から見るヒヤリハット 経過報告 意見交換

研修

施設内研修（勉強会）

4月15日	職場での悩み事
5月15日	ブレーストミング法
6月15日	事例検討会「独居高齢者の関わり方」
7月16日	ケアプラン更新について・ヒヤリハット
9月21日	感染症対策・ケアプラン見直しと確認・外部評価結果
11月17日	ケアプラン更新について・避難訓練の反省と課題
2月15日	認知症ケアパス委員会発足・意思決定支援について

施設外研修

5月14日	地区医療研修会（さわうち病院）
5月19日	介護報酬に伴う労務管理（GH協会）
9月5日	感染症対策（さわうち病院）
9月24日	家族からみる認知症と共に歩む人（GH協会）
9月27日	キックオフミーティング（西和賀町在宅医療介護連携推進協議会）
11月15日	交換研修（北上市わがの里）
2月11日	意思決定支援の取り組み（西、連携推進協議会）
2月20日	包括ケア・地域づくりシンポジウム（同）

避難訓練

27年度に予定した訓練を全て行った、毎回反省会を行い気付きについては繰り返し練習するようにした。

6月24日	消防署立会い救命訓練
9月24日	通報訓練
10月18日	消防署立ち合い消防団参加訓練
10月21日	夜間想定
10月31日	夜間想定
12月23日	夜間想定
1月3日	夜間想定
1月8日	夜間想定

外部評価

平成27年9月16日（公財）いきいき岩手支援財団より外部評価を受け、自己評価及び外部評価の調査を受けた。

「当事業所のアピールしたい点として」

ターミナルケアの実践を続けていくため、最後まで変わらぬ暮らしを送っていただけるように、スタッフは更なる介護技術の向上に努めながら、心に寄り添う姿勢を保つように心掛けている。

「外部評価の総評」

管理者を中心に、全職員が自己評価に参加して、入居者や家族にとって、必要なケアが提供できているかを常に反省しながら取り組んでいる様子は家族の感謝の言葉からも窺い知ることが出来る。理念で謳われているように、見取り介護を行い、家族からは絶対的なしんらいを得ている。自宅が遠方の家族には、事業所の部屋を葬儀に提供したり、利用者および家族本位の支援をしている。一枚板の大きなテーブルを囲んでいる入居者の方々は、自然の中の大きな家族のようで、微笑ましい雰囲気であり、調査員も暖かい気持ちにさせられた。

以上